

芸人協会の長老派「ぼうぼう組」に激震が走った。鳴かず飛ばすのまま七十の坂を越えた「あたぼう」に引きも切らぬ出演依頼が舞い込んでいるのだ。

「ぼうぼう組」の世話役「心張棒」は、あたぼうの人気を喜びながらも、一体どうして？が先に立って何だかすつきりしない。そこで、あたぼうと親しい「棒読み」にその謎を探らせることにした。

春まだ浅い頃、小料理屋「ぼうだら」の一室に心張棒と棒読みの姿。

「で、あたぼう大ウケの謎、なにか分かったか？」

「それがその、普段のアイツはバカ真面目で面白くもなんともないんですがね、出番が近づくと急に陽気になるもんで、こりゃあへんだなってんで何処へ行くにもピツタリくつついてたんですよ

「うんうん、それで？」

「あた棒の奴、出番の前に丸薬みたいなのをこつそり口に放り込むんでさあ

「ナニ！ ヤクやつてるのかアイツ！ そういえばヤク漬けの作曲家もいたなあ
「アタシも心配になって楽屋のカバンを探ったら、出てきたのがこれなんで

「オモシロクナル」？ うーむ、その昔に「ノドヌール」なんてえフザケタ名前の水薬が流行ったこともあったつけ。どれどれ。

効能

話すたびにバカウケ爆笑

オチで噛まない

MCの急なムチャ振りでもアドリブが出る

スべったことでもウケる

成分

ウケテシヨウガアレヘン、ワライトマラフェン、ミンナエガオナル、

スベリシラズン酸、コナイウケルノナーゼ

使用上の注意

◇ このような時は服用を避けてください

人が牛乳を飲んでる時

盲腸の手術をしたばかりの人が近くにいる時

お通夜や葬式など厳粛な場所に居る時

◇ 効能には芸歴による個人差がでることもありますのでご了承ください

◇ スケジュールに空きがなくなる可能性がありますのでご注意ください

さあさあお立合、ご用とお急ぎのない方はゆっくり見てってちようだいよ。寄つてらっしゃい見てらっしゃい、これが噂の「オモシロクナル」だ。舐めればたちまち芸人はだし！ 今日特別に大盤振る舞いだ！